

# ごみゼロアクション

<http://www.pref.osaka.jp/waste/zero/>

「グリーンコンシューマーのための買い物ガイド」は、大阪府のごみゼロアクション事業から活動助成金を得て作成しました。このほど大阪府のホームページに「ごみゼロアクション」のページが掲載され、当グリーンコンシューマー大阪ネットワークのインタビューも掲載されましたので、その一部を紹介します。

・・・

この活動を始められたきっかけは？

当初からごみを限りなくゼロにという活動をしているんですが、モノを売るほうも、買い手のことを考えるとなかなか取り組みが進まないというのが現状でしょう。ですから買い手のほうから意思表示をし、アクションを起こし、それによって消費者の考えを知ってもらい、変わってもらえたらと思いました。

たとえば、お店側はきちんと包んだほうがいいだろうと思っけていても、実は消費者はごみになるから嫌だと思っけていたり、いる分だけ量って買いたいと思っけていたり・・・そういうことを伝えなければいけないと思うんです。

そのために売り手側のスーパーやデパートなどに一度、意志を問いたい、また、どんなところが私達の希望するような売り方をしているのかも知りたかったんです。

ごみゼロに対する意識は、お店により、地域により、かなりの格差がありますので、それをきちんとアンケートで調べて、まず先に消費者の立場からの発信をしたいということでこの取組みをすることになりました。

・・・

メンバーの方々の意識が変わりましたか？

ここに名を連ねることのでいい消費者にならねば・・・という意識はありますね。

家族に説教されたので、レジ袋の代わりの袋を持って行ってポイントをもらっていますが、こういうのは、くせの問題ですね。くせになったらできるもんですよ。

簡易包装だからと生協の宅配を使い包装資材は持って帰ってもらっているメンバーもいます。

・・・

この買い物ブックの次の活動は？

各地域で小さいお店も紹介できる小さい版を作りたいです。購入ガイドができたらそれを武器に活動や会員も広げていきたいし・・・。

この3、4年は講座・イベントもたくさん開いているので、様々なグループとの交流も広がっています。中央区ミナミ商店会連合会アメリカ村の会と食品残渣の処理について検討もを行っています。

あちこちでエコやエコクッキングのことを辻説法しているので、どんどん仲間が増えてくるんですよ。

・・・